

第 71 回 日本 PTA 全国研究大会 広島大会 参加報告

富士市 PTA 連絡協議会
会長 服部 英之

第 71 回日本 PTA 全国研究大会広島大会が、8 月 25 日から 2 日間、広島県にて開催されました。2 日間とも 35°C を超える猛暑日となりましたが、全国の各地域から約 7000 人が集結し、我々富士市 P 連も参加させていただきました。

「変化の時代に向け、PTA 自身が学びの変革を！ 見つけ 考え かわろうや ぶち楽しいで！！ 広島から全国へ」を大会スローガンに掲げ、その中で、メインテーマとして

- ①家庭・学校・地域の連携を深める P T A 活動
- ②学びの変革を推進する P T A 活動
- ③学びを深める P T A 活動
- ④豊かな心を育む P T A 活動

の 4 つが出されました。

昨今に見られる新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、これからの予測不能な変化が起こる時代に「社会は誰かに作ってもらうものではなく、自分たちが作っていくもの」という意識を持ち、主体性と対話による協働的な学びによって、よりよい社会を形成していくことが重要なのだと思い知らされました。学校では、様々な変更や対応を余儀なくされる一方で「教育の歩みを止めるわけにはいかない」という想いの中、工夫と柔軟な対応で児童生徒のために力を尽くしています。学校を取り巻く環境だけでなく、社会全体も大きく変わろうとしています。グローバル化の一層の進展、I C T の急速な進化により、広い範囲で人とモノがつながり、近い将来でさえ予測困難な時代となってきたとおもいます。このような時代を担っていく子供たちは、様々な変化に主体的に向き合うとともに、他者と協働しながら価値の創造に挑み、よりよい社会を形成していく力を身につけていくことが重要だと考え、今回の全国大会に参加する意義を強く感じました。

広島県では、学校環境において「生きる力」を合言葉に、自ら課題を発見し解決していく能力の育成が行われています。家庭・学校・地域が連携した CS（コミュニティスクール）や、「親力」を高め家庭教育のパワーアップを図る親学、各地での家庭教育支援チームの結成などの取組が進んでいるそうです。

これからの P T A 活動は、「できない」ではなく「できること」は何かを見つけ、対策を 考え解決していくようにし、 どのような状況でも家庭教育力をさらに高め、次代を担う子供たちを 社会が総がかりで育成できるよう、当事者達が意識をしっかりと持ち、家庭・学校・

地域をつなぐ唯一無二の存在という役割を、改めて再認識することが重要だと思います。また、これらの社会情勢や家庭教育・学校教育・社会教育を取り巻く現状を踏まえ、不確実な激動の未来を生き抜く力「学びの変革」を柱にし、PTA会員一人ひとりの考えや価値観、体験を共有しながら、今までの知識や経験の元に、今後の激変する時代に対応できる、学習力・判断力・実行力を兼ね備えたPTAの創造を、共に考えていく機会となりました。全体会記念講演では、黒川伊保子先生による「心のトリセツ～「逃癖」を「意欲」に変える脳科学～」と題して、面白い話を聞かせていただきました。

まずは「遊」より始めよ！の元陸上競技選手の為末さんのお話の中から、「人の話は共感で聞くタイプ」「自分の話は結論からはなすタイプ」の2つに分け、どう話していくのがいいのか・・・「いいね」受けは国際基準や、心理的安全性、またパフォーマンスを出せる所作の違いなど、面白いたとえ話を交えつつ楽しく公演を聞かせていただきました。

分科会ですが、富士市は活火山の富士山を抱えている街として第6分科会の「防災教育」を選ばせていただきました。

予期せぬ災害から大切な命を守るために「今、できること・考えておくべきこと」をテーマに 災害に対する子供や大人の意識をより高めるために、今私たちにできることは何かを考え、また、災害に対する子供や大人の意識をより高めるために、想定外の災害に備え、考え、準備しておくべきことや、有事の際に、防災情報や人的ネットワークなど活用する力を育むために、また、子供たちを守るためには、PTA組織としてどう活動していくべきかなど、今私たちにできることは何かを考え、地域と連携して大切な命を守る事の重要性を再認識しました。

多数のアプリを使って模擬体験や、有効情報のHPの紹介、うんこ学園協力の「海」「川」「生活」の安全うんこドリルなど多くの情報を頂きました。

広島では2018年に豪雨災害に見舞われ、その経験から学校に行けなくなってしまった子供への対応、心のケア、物資の寄付など、前もって地域や学校と球技大会や懇親会で、コミュニケーションを取りあっていたことで、災害時に連携がとれ大変助かった！など体験談を聞かせていただきました。

今回の全国研究大会広島大会も、大変印象に残るものとなり、凄く勉強させていただきました。ありがとうございました。